

環境報告書

2021

報告対象期間 2020年4月1日～2021年3月31日



東京外国語大学
Tokyo University of Foreign Studies

CONTENTS

—目次—

TOP MESSAGE	1
-------------	---

大学概要

東京外国語大学のミッション	2
学生数	2
教職員数	2
建物一覧	2
教育研究組織	3
運営組織	3

環境パフォーマンス

過去5年におけるエネルギー使用量	4
過去5年における温室効果ガス排出量	5
水道使用量	5
コ・ジェネレーション設備による電力・熱の回収	6
紙使用量	7
産業廃棄物排出量	7
グリーン購入の状況	8

環境配慮への取り組み

①照明器具による省エネルギー対策	9
②窓ガラスフィルムによる省エネルギー対策	9
③高効率空調機による省エネルギー対策	10
④太陽光発電設備による省エネルギー対策	11



TOP MESSAGE

東京外国語大学は「世界の言語・地域の理解を基盤とし、異文化間の対話と相互理解、地球社会における人々の共存・共生に寄与する」を目標として掲げ、教育研究の発展、学部・大学院教育の充実、多文化共生へのニーズを核とした、社会連携・地域連携の充実など様々な取り組みを展開しています。

そうした中で、地球温暖化は世界的な問題として中長期的に取り組んでいかなければならない大きな課題の一つです。近年の異常気象やそれに起因しての自然災害、農作物への影響が発生し、生態系への影響も懸念されています。温暖化の進行は異常気象を加速させ、私たちの生活や健康、文化や暮らし全般に大きな影響をもたらします。さらに途上国などの人々への生活が脅かされ貧困への影響も指摘されています。

2020年10月の第203回国会における所信表明演説で菅内閣総理大臣は、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。国立大学の教育、研究、社会貢献における活動のなかでその役割は非常に大きく、地球環境への取り組みへ貢献していく必要があります。

本学では、日本国内の大学において自然エネルギーの活用等を促進することを通じて、大学活動に伴う環境負荷を抑制し脱炭素化を目指すネットワークとして2021年6月に設立された「自然エネルギー大学リーグ」、多くの大学・関係省庁による2021年7月に設立された「カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリション」へ参画しています。また、2021年12月には本学のカーボンニュートラルに向けての目標として「教職員・学生と協働で地球温暖化対策を推進し、大学が使う全ての電力について、2030年度までに自然エネルギー電力へ転換（生産又は調達）することを目指す」ことを決めました。省エネルギー、創エネルギー対策や環境負荷低減活動を教職員・学生ともに取り組み、環境問題解決に本学として貢献していきたいと考えております。

本学の環境に配慮した活動について、これからも皆様からのご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

国立大学法人 東京外国語大学
学長 林 佳世子



大学概要

東京外国語大学のミッション

多文化共生に寄与する東京外国語大学

東京外国語大学は長きにわたり、世界の言語とそれを基底とする文化、世界諸地域や国際的な問題について、研究と教育を行ってきました。
 やがて建学150周年を迎えるにあたり、世界諸地域の言語・文化・社会に関する高等教育の中心として、また、学際的研究拠点として、その役割をさらに明確にします。
 多言語多文化化する日本と世界で、人々の共生に寄与する人材、そして地球的課題に取り組むことのできる人材の養成を目指します。また、大学として、共生社会の実現に向けた社会貢献事業に取り組みます。

学生数（2021年5月現在）

学部在籍者数

学部	1年	2年	3年	4年	総計
言語文化学部	344	366	364	681	1755
国際社会学部	348	370	414	671	1803
国際日本学部	83	82	78	-	243
計	775	818	856	1352	3801

大学院在籍者数

大学院総合国際学研究科	1年	2年	3年	計
博士前期課程	148	163	-	311
博士後期課程	41	37	128	206
計	189	200	128	517

教職員数（2020年5月現在）

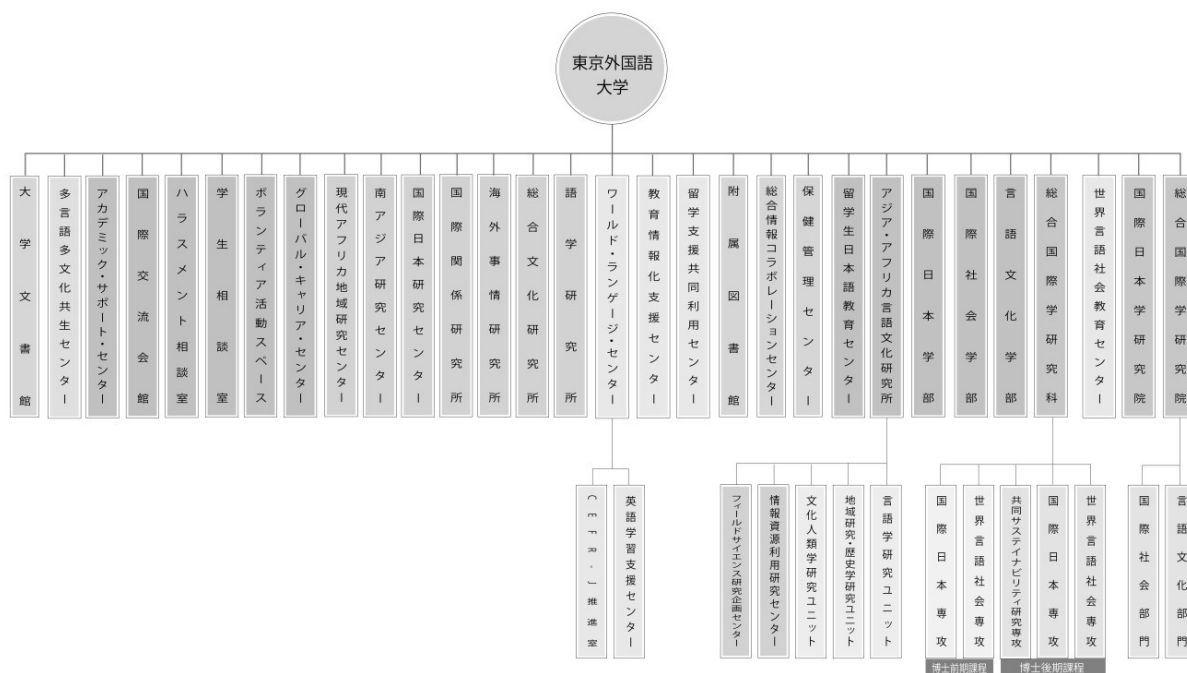
役員等	9名	
教員	247名	（役員 5 名含む）
職員	136名	
計	392名	

建物一覧

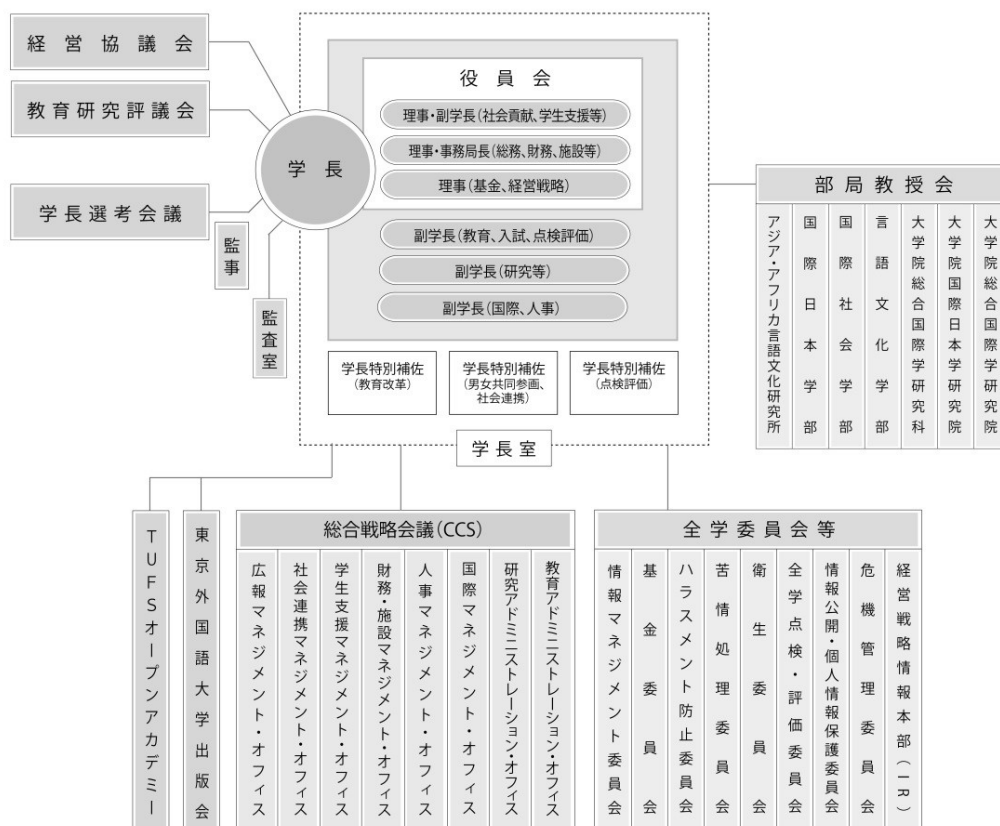
No	建物名称	建物構造	延床面積（㎡）	完成年
1	研究講義棟	RC8-1	27,940	2000
2	附属図書館	RC4	6,820	2000
3	大学会館	RC2	2,770	2000
4	保健管理センター	RC1	458	2000
5	車庫	RC1	107	2000
6	屋内運動場	S1+RC5-1	5,720	2001
7	アジア・アフリカ言語文化研究所	RC8	7,610	2001
8	本部管理棟	RC5-1	3,927	2002
9	弓道場	RC1	198	2002
10	器具庫	RC1	240	2002
11	留学生日本語研究センター	SRC6-1	5,510	2003
12	国際交流会館（1号館）	RC7-1	3,270	2004
13	国際交流会館（2号館）	RC6	2,798	2006
14	アゴラ・グローバル	RC3	2,949	2010
15	国際交流会館（3号館）	RC8	5,045	2013

大学概要

■ 教育研究組織



■ 運営組織



環境パフォーマンス

■過去5年におけるエネルギー使用量

本学は2008年度まで、東京都環境確保条例に定められる大規模事業所の指定をうけ、CO2排出の総量削減義務が生じていました。その後、エネルギー排出量が条例の基準を下回ったことから、2009年には大規模事業所の指定が解除となり、その後は年々下降傾向にあります。使用しているエネルギー種別は電力・都市ガスとなっており、2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、大学での対面授業が制限され、エネルギー量も例年に比べて低い数値となりました。

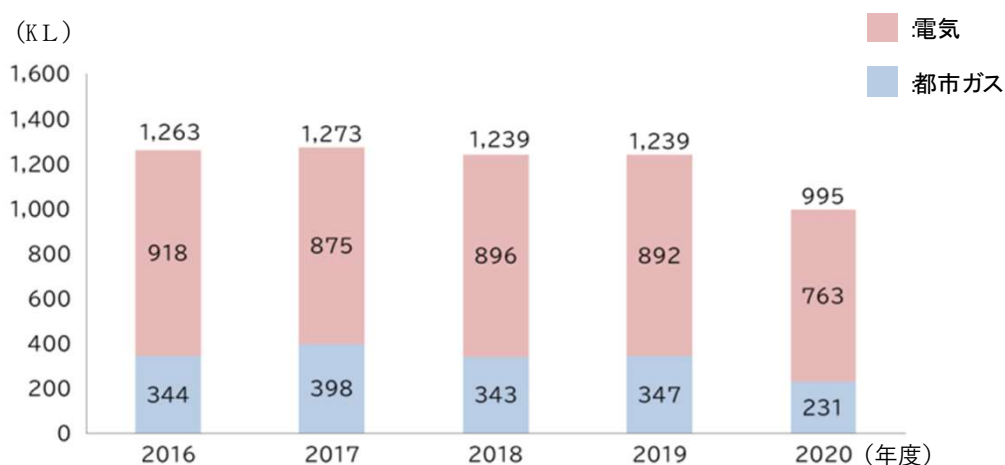
<エネルギー使用量の推移>

エネルギー種別	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
電力 (kWh)	3,646,703	3,475,160	3,556,955	3,543,234	3,031,077
都市ガス (m ³)	296,631	342,941	295,518	298,883	199,373

<原油換算量>

(KL)

エネルギー種別	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
電力	918	875	896	892	763
都市ガス	344	398	343	347	231
計	1,263	1,273	1,239	1,239	995



環境パフォーマンス

■過去5年における温室効果ガス排出量

東京都条例の大規模事業所となっていた2007年時点においては、3,079 t-CO₂の排出量がありましたが、直近5年においては（新型コロナの影響が及んだ2020年を除き）概ね2,400 t-CO₂前後にて推移しています。

<CO₂排出量の推移>

(t-CO₂)

エネルギー種別	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
電力	1,783	1,699	1,739	1,733	1,482
都市ガス	644	744	641	649	433
計	2,427	2,433	2,380	2,382	1,915



■水道使用量

2020年度は新型コロナ感染拡大防止の為、大学での対面授業制限や食堂の利用制限などが影響し、水道使用量も大幅に低い数値となりました。エネルギー量も例年に比べて低い数値となりました。

<上下水道使用量の推移>

種別	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
上水 (m ³)	21,758	22,755	23,142	23,526	8,329
下水 (m ³)	35,711	38,535	33,991	36,880	18,123



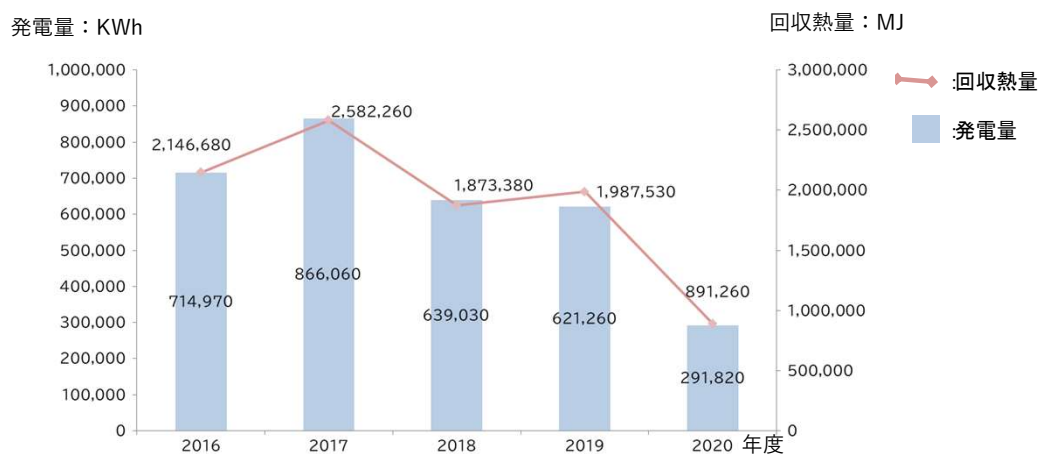
環境パフォーマンス

■コ・ジェネレーション設備による電力・熱の回収

370 k w h 出力の常用発電機2台を有しており、発電時に発生する排熱を空調設備で利用して省エネを実現する、コ・ジェネレーション設備が稼働しています。コ・ジェネレーション設備による回収熱量と発電量は計測のうえ日報データにて出力しており、過去5年における回収熱量等は以下の通りです。

<コ・ジェネレーション設備による発電実績>

エネルギー種別	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
電力 (kWh)	714,970	866,060	639,030	621,260	291,820
回収熱量 (MJ)	2,146,680	2,582,260	1,873,380	1,987,530	891,260



環境パフォーマンス

■紙使用量

本学では古紙資源のリサイクルに貢献する「リサイクルPPC」を使用しています。

過去3年度の使用量は以下のとおりです。

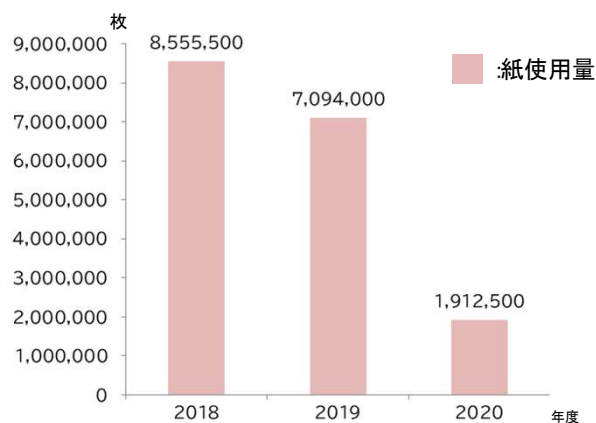
他の環境負荷データと同様、2020年度は新型コロナウイルスによる諸影響により、紙の使用量についても例年に比べて大幅に少ない数値となりました。

<再リサイクルPPC用紙使用量の推移>

2018年度		
	箱数	枚数
A3	422	633,000
A4	2,928	7,320,000
B4	93	232,500
B5	148	370,000
計	3,591	8,555,500

2019年度		
	箱数	枚数
A3	386	579,000
A4	2,411	6,027,500
B4	101	252,500
B5	94	235,000
計	2,992	7,094,000

2020年度		
	箱数	枚数
A3	55	82,500
A4	695	1,737,500
B4	11	27,500
B5	26	65,000
計	787	1,912,500



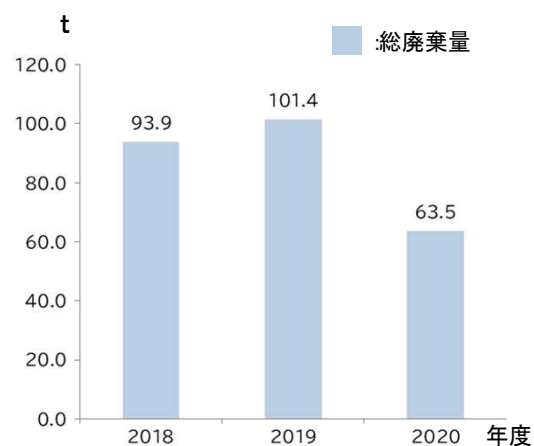
■産業廃棄物排出量

過去3年度の産業廃棄物排出量は以下のとおりです。

こちらも、2020年度は新型コロナウイルスの影響により少ない数値となりました。

<産業廃棄物排出量の推移>

種別	2018年度	2019年度	2020年度
産業廃棄物 (t)	93.9	101.4	63.5



環境パフォーマンス

■ グリーン購入の状況

環境物品等の調達の推進に当たって、できる限り環境への負荷の少ない物品等の調達に努めることとし、環境物品等の判断基準を超えるものを調達すること、また、グリーン購入法適合品が存在しない場合についても、エコマーク等が表示され、環境保全に配慮されている物品を調達することについて配慮しました。

< 令和2年度特定調達品目調達実績（物品） >

分野	① 目標値	② 総調達量	③ 特定調達物品等の調達量	④ 特定調達物品等の調達率 =③/②
紙類（kg）	100%	3,578	3,578	100%
文具類（個・冊・本・枚）	100%	16,540	16,540	100%
オフィス家具等（脚・個・台・連）	100%	333	333	100%
画像機器等（個・台）	100%	943	943	100%
電子計算機等（個・台）	100%	1,951	1,951	100%
オフィス機器等（個・台）	100%	586	586	100%
移動電話等（台）	100%	3	3	100%
家電製品（台）	100%	66	63	95%
エアコンディショナー等（台）	100%	18	18	100%
照明（個・台・本）	100%	3,079	3,079	100%
制服・作業服（足・着）	100%	36	36	100%
インテリア・寝装寝具（個・台・点・枚）	100%	33	33	100%
作業手袋（組）	100%	1,017	1,017	100%
その他繊維製品（点）	100%	4	4	100%
災害備蓄用品（個・本）	100%	4,766	4,766	100%
役務（件）	100%	668	668	100%
ごみ袋等（枚）	100%	3,749	3,749	100%

環境配慮への取り組み

■施設整備における省エネルギー対策

①照明器具による省エネルギー対策

省エネルギー対策として、電気使用量の削減が見込まれる照明器具のLED化を進めています。2020年度は下記の事業を行っています。

- ・ 附属図書館 1～4 階照明LED化
- ・ 研究講義棟、留日センター棟誘導灯非常照明LED化
- ・ 研究講義棟 1 階廊下、2 階ラウンジ照明LED化
- ・ 国際交流会館 1 号館 1 階共用部照明LED化
- ・ 外灯照明LED化（国際交流会館 2 号館玄関側、スタジアム通り側）



附属図書館照明LED化

<これまでの照明器具LED化と電力削減率>

棟	場所	電力削減率
研究講義棟	1階～8階共用部、1階～3階各教室、大学院室、誘導灯・非常照明	37.1%
留学生日本語教育センター棟	誘導灯・非常照明	37.4%
屋内運動場	5階 武道場 B1階 舞踏場、トレーニングセンター、サブアリーナ、メインアリーナ	27.1%
附属図書館	1階～4階	45.1%
アゴラ・グローバル	プロメテウス・ホール	30.6%
本部管理棟	2階～5階までのエレベータホール	49.3%
大学会館	円形ホールの高天井	53.9%
外構部（外灯）	ハイポール	60.9%

②窓ガラスフィルムによる省エネルギー対策

- ・ 研究講義棟中層棟 2～4 階西側ガラス面に遮熱フィルムを貼り、西日対策と遮熱による空調負荷の低減を図ることができました。

環境配慮への取り組み

③高効率空調機等による省エネルギー対策

- ・工事箇所：研究講義棟4階大学院研究室、5～8階演習室・共同研究室

エネルギー効率の低い中央式空調を個別式空調（高効率型）に改修することにより省エネルギー化を図りました。また、夜間休日にも使用する研究室を個別式空調にすることにより、一部の部屋使用で中央式空調全体を稼働させなければならないという非効率な運用も改善しています。



研究講義棟空調機

- ・工事箇所：屋内運動場アリーナ

屋内運動場の運動施設に空調設備が設置されておらず、度々サークル活動中の学生が熱中症で倒れていたことから、安全・安心なキャンパスに向け空調設備を整備した。空調機においては高効率な機種を選定し設置している。



屋内運動場屋外機



屋内運動場アリーナ
空調ダクト

- ・工事箇所：（吉祥寺）外国人教師宿舎

A・B棟全9戸について、老朽化による更新において高効率空調に改修することにより省エネルギー化を図りました。



（吉祥寺）外国人教師宿舎
空調機

環境配慮への取り組み

④太陽光発電設備による省エネルギー対策

2015年度に地球温暖化対策として太陽光発電設備（公称出力30 kW）を設置しています。

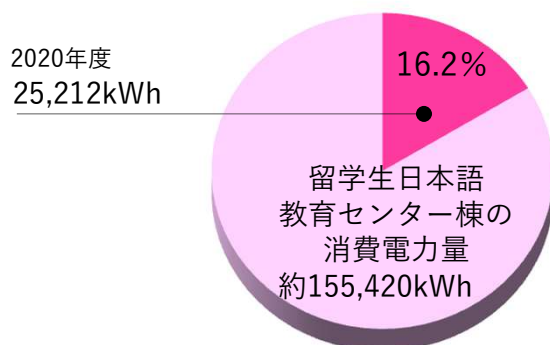
設置場所

- ・留学生日本語教育研究センター屋上



留学生日本語教育研究センター屋上
太陽光発電設備

☆2020年度 再生可能エネルギー利用率



大学会館1階ホール
モニター



本報告書の対象範囲

- ・ 報告対象組織 国立大学法人 東京外国語大学
- ・ 報告対象期間 2020年4月1日～2021年3月31日

東京外国語大学 2021年度版 環境報告書
発行年月 令和4年（2022年）2月
問い合わせ先 東京外国語大学 総務企画部 施設企画課
TEL 042-330-5141 FAX 042-330-5420
Eメール shisetsukikakuka@tufs.ac.jp
大学ホームページ <http://www.tufs.ac.jp/>